

廃棄物に関する学部・大学院用教科書



ごみ問題の総合的理解のために(技報堂)

ごみ問題は市民の生活と密接にかかわり、また多くの自治体が困難を抱えていることから、最も身近な環境問題といえます。しかし、一口に「ごみ問題」と言ってもその内容は複雑で複合的であり、解決には、全体を総合的にとらえる必要があります。本書は、「ごみ問題」を、(1)歴史に学ぶ、(2)表面的な理解から一歩踏み込む、(3)総合的・多角的な視点をもつ、(4)個々人はどうすればよいのか、という4つの視点から大局的に眺め、目次に示した13のテーマに整理し、問題解決のための糸口となる知識や考え方を身に付けていだけるように努めました。各テーマに「演習問題」を付すなど、教科書・副読本としての利用を意識して書かれていますが、一般の方々の参考書としても適しています。

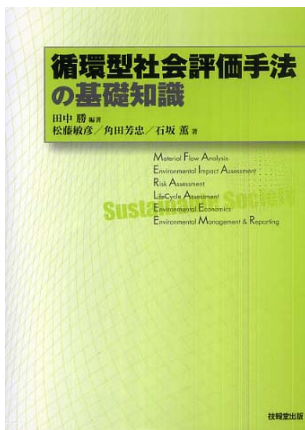
☆「廃棄物処理工学」(3年目)の教科書

リサイクル・適正処分のための廃棄物工学の基礎知識(技報堂)

廃棄物のリサイクル・適正処分にかかわる工学とその周辺知識を提供する入門書。廃棄物の発生から最終処分まで、いかなる理念によって、どんな法令の下に、どのような仕組み、技術で行われているのかが、一貫して解説されている。21世紀初頭のリサイクル・適正処分の状況を記録しておく、ということも意図されており、廃棄物問題に関心のある一般の読者にも読んでいただきたい。



☆「廃棄物処理工学特論」(大学院)の教科書



循環型社会評価手法の基礎知識(技報堂)

3R:(Reduce, Reuse, Recycle)と廃棄物の適正処理によって循環型社会を形成するための評価・解析手法(物質フロー解析、環境影響評価、リスクアセスメント、ライフサイクルアセスメント、費用と便益の解析、環境管理)の基礎について、簡潔に解説する。本書により、社会の物質の流れから、各種環境影響の科学的な解析評価手法、および環境マネジメントに関する基礎を習得できる。環境問題、廃棄物問題を学び、関心を持つ学生・市民、NGO・NPO、自治体・企業人の参考にも供する。テキスト用の便にも配慮し、演習問題も充実。

☆「環境評価学特論」(大学院)の教科書